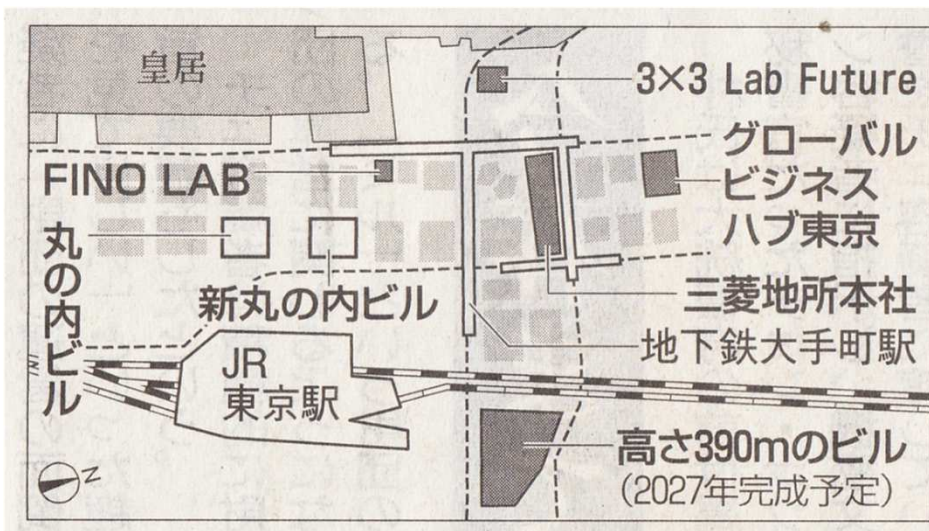


三菱地所 2

3×3 Lab Future

広さ800m²、個人会員、年会費1万8000円で利用可

大手門タワー・JXビル 22階



三菱地所は、大企業が集まる東京・丸の内周辺のオフィス街に、成長が期待できるベンチャーを呼び込み、新風を吹き込もうとしているのだ。

会社超え個人集う



3×3 Labの会員らが集まり、地球課題への企業の取り組みを考えた東京千代田区

丸の内周辺の「三菱村」では、個人もイノベーションの主役になりえる。皇居の目の前に昨秋完成した大手門タワー・JXビル。22階建ての入り口を抜けると、丸太のテーブルや木々に囲まれた広場が現れる。広さ800平方メートルの「3×3 Lab Future」。1人で仕事をしたり、仲間と談笑したりするスペースがあるほか、調理施設や飲み物の入った冷蔵庫もある。勉強会やパーティーも開ける。

利用できるのは年会費1万8000円を支払った個人会員で、今年3月の開設以来、300人が登録した。自宅でも職場でもない「第3の場所」で知恵や悩みを寄せ合って解決策を探る場づくりの試みだ。

今月8日夜、ラボの主催で勉強会が開かれた。国連がすべての国に求めた「持続可能な開発目標」を達成するため、企業に何ができるかを考えるのがテーマ。メーカーなどで環境対策や社会的責任(CSR)の推進部門に所属する会員や同僚ら約40人が集まった。

事務機器大手リコーの環境事業開発センターに勤める大越瑛美さん(32)は個人会員に登録し、興味がある会合に顔を出す。職場に持ち帰って同僚と話題にすることもあるという。「会社は仕事だけで終わってしまいがち。外部の人と話すことで新しい発見ができないかと期待しています」と語る。

仮にラボをオフィスにして貸し出せば、毎月1千万円の収入になるが、目先の収益は求めない。杉山社長は「丸の内に来れば出会いがあり、新しい発想やイノベーションが生まれるという評価を得れば、街の魅力がもっと高まる」と話す。(山口博敬)

❗ 次回の掲載は12月19日(木)、二トリを取り上げます。ご意見は、eizai@asahi.comまでお寄せください。